

平成 29 年度 まつやま働き方改革プロジェクト

「イクボス宣言後、みなさまの組織はどうですか」

事業報告書

平成 29 年 10 月 19 日

主催 未・来 J o b まつやま
企画・協力 NPO 法人ワークライフ・コラボ

10月19日、まつやま働き方改革交流会「イクボス宣言後、みなさまの組織ではどうですか」を開催しました。

イクボス宣言後のその後の事例「うまくいっていない・模索している」という具体的な悩みや、成功事例ではなく、苦労しているプロセスを共有することで、働き改革に必要な要素を知り、会社のより一層の成長に貢献することを目指します。

開催にあたり、事例発表者は職種、規模がバラバラな4社に来ていただきました。

【事例発表：宣言組織4社】

- ・株式会社ファインデックス様（従業員数 222 名・ソフトウェア開発）
- ・佐川印刷株式会社様（従業員数 90 名・印刷）
- ・有限会社モンド様（従業員数 18 名・水産加工）
- ・松山市役所様（職員数 3, 334 名）

【スケジュール】

司会・進行／NPO 法人ワークライフ・コラボ 堀田真奈氏

- ①アイスブレイク（自己紹介）
- ②宣言企業による事例発表
- ③深堀をするためのパネルディスカッション
- ④グループで共有、発表

まつやま働き方改革交流会
「イクボス宣言後、みなさまの組織ではどうですか」
参加無料

イクボスたちを先頭に、
幸せを実感できるまちづくり・職場づくりはできていますか？

昨年 11 月の「松山イクボス宣言書」から、勝ち負けなく 1 年。
『働き方を改革しよう！』というだけで、何も変わっていない！
『採用も厳しくなり、人の定数にも課題がある。焦るばかりで進んでいない！』
『取り組みを考え始めたが、社内で賛同してもらえない！』
『一部の人がだけ改善を始める状態になっている！』
など、まだまだ始めの一歩から進んでいない・・・という企業がまだまだ多いです。
実行する「プロセス」に意味がある！
『働き方改革』を実践している企業は、実際どんなことに取り組んで、どんなことで苦悶しているのか、その事例を聞いて、うーん、「イクボス」「働き方改革」がなぜ効果的なのか、考えてみませんか？

イクボスとは
健康で元気に働く部下・スタッフのワークライフ・バランスを
考え、その人の人生とキャリアを応援しながら、組織の業績
も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことがで
きるよう（経営者・管理者）のことです。

【日 期】10月19日（木）13:30~15:30
15:30~16:00（名刺交換など交流したい方）
【会 場】コムズら総合棟（松山市三番町 6 丁目 4-20）
【定 員】15 社（1 社 2 名程度、先着順）
【対 象】このセミナーに興味のある企業、団体など
【ナビゲーター】特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
堀田 真奈氏
【参加費】無料
【申込方法】お申し込み・お問合せ

【参加発表者】
株式会社ファインデックス
（従業員数 222 名・ソフトウェア開発）
佐川印刷株式会社
（従業員数 90 名・印刷）
有限会社モンド
（従業員数 18 名・水産加工）
松山市役所（職員数 3,334 名）

宣言組織4社様にイクボス宣言後をお聞きすると、

- ・「宣言書を壁に掲げ、よりいっそう意識し始めた」
- ・「従業員に時間の意識を持たせるための工夫、作業の見直し、メールのやりとり方法を変えた」
- ・「社員の関心は正直薄い。意味をほぼ理解していないと思うし、今しか見えない人もいる と思う。足踏みしている状況」
- ・「管理職層と若手社員の意識の違いがある。イクボスが増えることで、どこにつながっているのか、どう変わるのかということが見えづらいかもしれない」

と、色々な取り組みや意識改革、また問題定義が行われていました。

また、この場所でしか聞けない“今まさにあること”が起きていて、その問題解決に正面から向き合っている姿や担当者独自の生々しい意見を聞かせていただきました。



また、パネルディスカッションでは、「制度の充実とモラルハザードは紙一重」「管理職の意識改革」「働き方改革＝残業をしない？」など、一般的に直面しそうな課題についてお話いただきました。



実行する「プロセス」に意味がある！

今一度、なぜ「イクボス」「働き方改革」が必要なのかを考えるいい機会になりました。

まつやま働き方改革交流会

参加
無料

「イクボス宣言後、 みなさまの組織ではどうですか」

イクボスたちを先頭に、

幸せを実感できるまちづくり・職場づくりはできていますか？

昨年11月の「松山イクボス合同宣言式」から、間もなく1年。

『働き方を改革しよう！というだけで、何も変わっていない』

『採用も厳しくなり、人の定着にも課題がある。焦るばかりで進んでいない』

『取り組みを考え始めたが、社内で賛同してもらえない』

『一部の人だけが恩恵を受ける状態になっている』

など、まだまだ初めの一步から進んでいない・・・という企業が多いようです。

実行する「プロセス」に意味がある！

「働き方改革」を実践している企業は、実際どんなことに困っていて、どんなことで苦労しているのか。その事例を聞いて、今一度、「イクボス」「働き方改革」がなぜ必要なのか、考えてみませんか？

イクボスとは

職場で共に働く部下・スタッフのワークライフ・バランスを考え、その人の人生とキャリアを応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のことを指します。



【日時】10月19日（木） 13：30～15：30
15：30～16：00（名刺交換など交流したい方）

【会場】コムズ5階会議室（松山市三番町6丁目4-20）

【定員】15社（1社2名程度、先着順）

【対象】このセミナーに興味のある企業、団体など

【コーディネーター】特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
堀田 真奈氏

【事例発表者】

株式会社ファインデックス

（従業員数222名・ソフトウェア開発）

佐川印刷株式会社

（従業員数90名・印刷）

有限会社モンド

（従業員数18名・水産加工）

松山市役所（職員数 3,334名）

【申込方法】電話またはホームページから未来Jobまつやまへお申込みください

お申込み・お問合せ